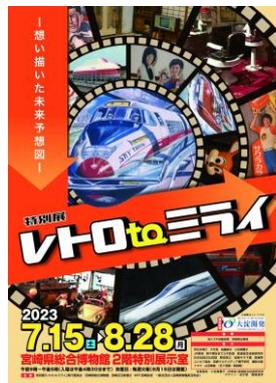




## 校長先生の挑戦4：夏休み何する？

7月21日は、1学期終業の日でした。終業式では、児童を代表して、2年生の山口稀子さんが、1学期頑張った3つのこと（勉強、友達に優しくする、係活動）と、2学期は運動会を頑張りたいという思いを発表してくれました。

発表の後、「校長先生の挑戦4」では「夏休み何する？」ということで、夏休みに開催される県立博物館での「レトロtoミライ」展や、県立美術館での「楽しむ美術館」展、フェニックス自然動物園等を紹介しました。この夏、いずれかの施設に行かれたという御家庭はおありでしょうか？「博物館」（美術館も動物園も分類上は博物館）と呼ば



ばれるこれらの施設は、子どもたちにとって少し縁遠い存在かも知れませんが、博物館は、「人にとって何らかの価値がある」と思われるものを集め、大切に保管・展示することで、興味を持った人が、いつでもそれを学ぶことができる施設です。展示してあるものに、一体、どんな価値があるのか？それは見る人によって違ってきます。しかし、だからこそ、出来るだけ様々な価値に触れさせ、子どもたちの心の間口を広げてあげられたらと思います。

夏休みに限らず、子どもたちが興味を示す催しがあれば、是非、「博物館」へも足を伸ばしてくださいませようお願いします。

## 校長先生の挑戦5：夏休み何した？

8月25日は、2学期の始業式でした。5年生の中島香后さんが「下学年の手本となって6年生をサポートしたい」など3つのことを2学期の抱負として発表してくれました。

2学期は「心と心が感動でつながる素敵なもの」になりそうな行事がたくさん待っています。ただし、本当にそうなるかは自分の取組次第、それなりの取組では、それなりの感動しか得られません。これ以上ない感動を得るためのこれ以上ない取組を！！特に、6年生の皆さんのリーダーシップに期待しています。

香后さんの発表の後の「校長先生の挑戦5」では、「夏休み何した？」ということで、私が夏休みに挑戦したことについてのお話をしました。左下の写真は、日南・串間の図工主任の先生方を対象とした実技講習会に向けた事前打ち合わせの様子です。

講習会では「読書感想画の指導方法」と「樹脂封入による作品作り」を実施する計画で、私は、樹脂封入の講師を担当する予定でしたが、他の出張が重なり、当日は参加することができなくなりました。そこで、この打ち合わせの際に、役員の先生方にやり方をお伝えし、代理の講師をお願いすることにしました。樹脂封入は、身の回り



の様々な物を、透明の樹脂で固める技法です。この日は、入学式を飾った花や、遠足の日に栄松海岸で拾った貝殻を樹脂で封じ込めました。自然や古びた物に目を向ける作品ですので、SDGsにも繋がります。役員の先生方のお陰で、講習会は、とても充実したものとなったとお聞きしています。参加した先生方には、この講習会で得たものを、是非、各学校の子どもたちに還元して欲しいと思います。

## 運動会でも、みんなの心と心を感動でつなぐ素敵なものに！



7月22日に、油津小学校の夏祭りがあり、5・6年生が、エイサーを披露しました。6年生は、昨年度の運動会での経験もあり、少し余裕をもったのステージとなりましたが、5年生は、6月に練習を開始し、暑い中、練習を重ねてはきたものの、緊張の舞台となりました。エイサーは、激しい動きやかけ声など、覚えるだけでも大変ですが、大切なことは、覚えた踊りにどれだけ磨きをかけられるか？

次の舞台は運動会（5年は宿泊学習も）！更に磨きのかかった演技に期待しています。

## 死という言葉の重み、そして、命の重みとは？

8月25日の始業の日に、平和学習を実施しました。

本校校区内に在住されている甲斐淳子さんは、2歳の頃に長崎で原爆を体験されています。その甲斐さんが体験した悲惨な出来事や、そこで感じたこと、今の子どもたちに伝えたい思いについて、地域コーディネーターの丸太さんのインタビューに答える形で語っていただき、その様子を動画で撮影したものを、全校児童、職員で視聴しました。



私自身、自分が2歳の頃の何を何か覚えているかという

と、正直言って全く思い出すことができません。しかし、甲斐さんは、なんとなくではありますが、2階でお兄さんとおやつを食べていたこと、ものすごい光と、地響きを伴う大きな音、そして、立ち上るきのこ雲を覚えていらっしゃるそうです。2歳の幼い心にもしっかりと刻みつけられるほど衝撃的な出来事だったのだと思います。

爆心地の反対側の工場で被爆したお父さんが、爆心地を越えて自宅まで向かおうとして力尽き、近くにあった板きれに自分の名前と住所を書いた時、一体どんな思いだったことでしょうか？その板きれのおかげでなんとか家族の元まで帰ることができたということですが、残念ながら、その12日後には亡くなられたそうです。その後、親戚を頼って知らない土地で大変な思いをしたこと、学校に通うようになって、先生や周りの人から聞いた原爆投下直後の悲惨な光景などを紹介してくださいました。

「今の世の中は平和だと思いますか？」という質問に、甲斐さんは、「平和だとは思いません。」と答えられました。「あまりにも自分勝手、自分さえ良ければ良いという考えの人が多い」からだそうです。私は、その言葉に衝撃を受けました。なぜなら、私が子どもの頃に聞いた平和学習での結びは、常に「今のこの平和な世の中を、守ってってください」というものだったからです。世の中は、いつのまにか平和ではなくなっているのかも知れません。相手と戦い、負けてもリセットできるゲームに興じる子どもたちの姿や、感情のままに他人を傷つける事件のニュースは、戦争を体験された甲斐さんにとって、言いようのない危機感を抱かせるものなのだと思います。



甲斐さんには、1年ほど前、サピアでの、年長さん位の子どものちょっとしたエピソードがあるそうです。その子どもは、足の不自由な甲斐さんを見て、家族に「車で送ってあげよう」と訴えたようです。その時、甲斐さんは「世の中捨てたものじゃない」と感じられたそうです。その子どもが本校の児童だったかどうかは分かりません。しかし、子どもの心が純粋であることはどこも同じ。そんな子どもの心にどんな影響を与えるのかは、周りの大人の責任だと思います。

## 9月の行事予定

9月1日	身体計測・視力検査	9月14日	結団式
9月4日	代表委員会・委員会活動	9月15日	参観日
9月5日	クラブ活動⑤	9月21日	交通教室Ⅱ
9月6日	避難訓練（不審者対応）	9月22日	運動会全体練習①
9月7日	宿泊学習（5年）	9月26日	読み聞かせ（保護者）
9月8日	宿泊学習・中学校説明会	9月29日	運動会全体練習②

